

〈令和5年度シラバス作成要領〉

中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」（2008）の用語解説において、シラバスは以下のように定義されています。

各授業科目の詳細な授業計画。一般に、大学の授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるもの。また、学生が講義の履修を決める際の資料になるとともに、教員相互の授業内容の調整、学生による授業評価等にも使われる。

学生の主体的学習が重視され、大学の教育の質保証が強く求められる昨今、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な時間外学習、明確な成績評価基準などを、学生等に対して明確に示すための資料として、シラバスの重要性が増しています。授業を担当される先生方におかれましては、趣旨をご理解のうえ、本要領に沿ってシラバスを作成いただきますよう、お願い申し上げます。

- ※ オムニバス形式など複数教員で担当する授業のシラバスは、代表教員が記載してください。
- ※ 同一名称の科目を複数教員で担当する場合、事前に担当教員間で調整し、記載内容に著しい差が生じないようにご注意ください。また、授業の到達目標は共通としてください。

★シラバス作成のポイント★

ティファロマポリシーとの関連性を明確にしてください。

- カリキュラム・マップにより、担当科目がどのティファロマポリシーに関連する科目であるか〈どの能力を伸ばすことに重点をおいている科目か〉を確認ください。
- シラバスには、このティファロマポリシーとの関連性に基づき、「何を学び、何を身につけることができるのか」（到達目標）を具体的に記載してください。
- 履修系統図（カリキュラム・ツリー）、ナンバリングは、全授業科目の体系性・有機的連携を確保するために定めています。シラバス作成の際、必ず確認をしてください。

※配置されているティファロマポリシーに対し、自身の専門性が異なる場合などある場合はお申し出ください。

※シラバス提出期限：2022年11月30日（水）

山野美容芸術短期大学は、建学の精神「美道五大原則」を基本理念とし、「美しく生きるために必要な能力を有し、美容を通じ広く国際社会に貢献しうる人材を育成する」ことを目的としています。各科目のシラバスは、上記を踏まえた内容で記載いただきますようお願いいたします。

[基本情報]シート

科目の概要（必須）

学生が授業の全体を把握できるよう、授業の意義、学問分野における授業の位置づけ、他の授業との関係などを総括的かつ簡略に記載してください。

このとき、科目に関連するディプロマポリシー（身につける能力）の達成に向けた内容となるよう記載してください。

当該授業の教授形式について次から該当する物を選択し、一番下の行に追記をお願いいたします。全回お一人で実施する場合は、記載なしで結構です。

- 【オムニバス方式】 = 複数名の教員が担当する回を決め実施
- 【共同担当形式】 = 単位認定者も出講し授業をゲストスピーカーと共同で担当
- 【クラス分け方式】 = 同一の授業名称の授業を複数クラスに分けて実施

授業方法（必須）

授業の進め方について、「対面授業」、「オンライン授業（ZOOM）」、授業の実施方法について記載してください。

また、具体的に各回の進め方など指示がある場合も、本項目に記載してください。

★追記をお願いします★ 「感染状況によりオンライン授業へ変更となる場合があります」

授業の目標（必須）

授業の終了段階までに、できるようになってほしい行動を、以下に例示する動詞を参照のうえ、「（学生が）〇〇できる」「〇〇できるようになる」の形式で記載してください。

一つの文章に一つの目標を書き、成績の評価と関連づけられるよう、観察、観測、評価可能な目標としてください。※到達目標※

必ず、学生を主語として記載してください。

[知識] 述べる 説明する 比較する 関係づける 予測する 具体的に述べる 応用する
分類する 例を挙げる 選択する 推論する 批判する 評価する

[技能] 測定する 工夫する 準備する 実施する 行う 熟練する 操作する 創造する

[態度] 参加する コミュニケーションをとる 尋ねる 協調する 配慮する 議論する 示す

時間外学習（必須）

短大設置基準により、1単位45時間以上の学習時間の確保が必要と定められております。本学における（対面・オンライン）授業の開講時間は以下の通りです。

1単位1コマの授業の場合

1コマ＝2時間×15週＝30時間

1単位＝45時間－30時間＝15時間（900分）→時間外学習時間

授業の到達目標を達成するために必要となる時間外学習（予習・復習等）について、具体的な内容、必要な時間の目安を記載してください。

授業計画に沿って各回について記載するようにしてください。科目の性質上、各回の記載が適切でない場合は、まとめて記載する方法でもかまいませんが、学生が適切な時間、学習を行うことができるようご記載ください。

・各回について記載する場合

全体の時間外学習については、全体を通じての方向性等を記載してください。

1単位、1コマ開講の科目の場合：時間外学習の合計時間が60分以上（専攻科は120分以上）となるように記載してください。

2単位、1コマ開講の科目の場合：時間外学習の合計時間を240分以上となるよう記載してください。

・まとめて記載する場合

全体の時間外学習については、トータルで、1単位（1コマ開講の場合）当たり900分以上（専攻科は1800分以上）となるように記載してください。表現として、毎回の時間を表記されても、全体のトータル時間を記載しても大丈夫です。

各回についても、出来る限り記載してください。

記載例を別紙にまとめております。ご確認ください。

教科書・教材（必須）

【教科書】 教科書を使用する場合、「書籍名」「著者」「出版社」「出版年」を記載ください。教科書等を使用しない場合は、空欄とせずに「なし」と記載してください。なお、先生が作成する資料等を使用される場合は、「教員作成資料」や「配布プリント」等と記載してください。

【教材】 学生が個別で用意すべき教材について記載してください。学校で配布する教材のみを使用する場合は、空欄とせずに「なし」と記載してください。

【学校共有の設備・備品】 特に学校共有の設備・備品を使用する場合に記載してください。なお、教室や教室に設置されている備品等については記載不要です。使用しない場合は、空欄とせずに「なし」と記載してください。

【参考文献】 時間外学習にて有効な情報源となるような参考書、文献、資料について記載してください。URL 等による情報を掲載していただいてもかまいませんが、対応ページにアクセス可能かご確認ください。指定しない場合は、空欄とせずに「なし」と記載してください。

評価方法（必須）

「授業の目標」との関係性を念頭に、どのような観点でどの程度の評価をされるかが学生にわかるように、「平常点 20%、小課題 30%、レポート 50%」「平常点 20%、実技試験、30%、定期試験 50%」等などのように、具体的に記述してください。

※各回授業内に実施する、小課題や小テスト等のみでの評価は不可

15回の授業は実施した上で、単位を認定するためのレポートやテストの実施が必要

本学では規定授業回数のお出席が定期試験の受験資格となっていますので出席点の記入は不可です。（加減点共に不可）この為、『なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。』は規定値で記載させていただきます。

試験やレポート等に対するフィードバックの方法

以下の例示を参照し、学生へのフィードバックの方法を選択又は、作成・記載してください。学習成果の可視化のため、フィードバックは、必ず実施いただきますようお願いいたします。

- 選択肢：①定期試験の要点について、掲示などにて解説を行います。
②レポートに対して、コメントを返します。
③ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。
④個別に実地指導を行います。

履修上の注意

上記以外で当該科目を受講するにあたり学生に伝達すべき事項（受講の心得、履修制限、特別な授業進行上のルールなど）があれば記載してください。

本科履修と関連する資格

当該科目を履修することにより直接的に連動する資格について記載してください。但し、美容師国家試験受験資格、エステティック協会認定資格は除外します。

委員会が中心となり記載する項目

- ・卒業認定：学位授与の方針（ディプロマポリシー）と関連（←カリキュラム・マップ）
- ・教育課程内の位置づけや水準（ナンバリング）
- ・実務経験のある教員による授業（実務経験内容）（新任の方には、別途確認いたします）

[授業計画]シート

授業計画【全体】（必須）

単位数により開講回数分の入力枠について、空欄が無いよう全て記載してください。但し、「時間外学習・備考」枠については、先の説明のとおりご対応ください。
開講回数により使用するシート数が増減します。使用しないシートについては未記載のままとしてください。

授業内容（必須）

- ① 複数の授業内容で構成する場合は、必ず授業回数ごとの内容を記載してください。
例) 第2回 美容器具の消毒法(1)
→ 美容器具の消毒法(1) 皮膚に接する器具類の消毒原則を学ぶ
第3回 美容器具の消毒法(2)
→ 美容器具の消毒法(2) 消毒の前処理について学ぶ
- ② 授業計画中に試験は含めてはいけないため、試験の表記は避けてください。
例) 第15回 試験 → 第15回 まとめと解説
- ③ オムニバス科目の場合は、それぞれの担当が明確になるように記載してください。
- ④ ゲストスピーカー（外部講師）を招聘して授業を実施する場合は、ゲストスピーカーに実施いただく内容と、一番最後に【ゲストスピーカー：講師名】と記載してください。
※ゲストスピーカーを招聘する計画がある場合は、別紙「ゲストスピーカー招聘の流れ」を確認の上、ご対応をお願いいたします。

到達目標（必須）

各回の授業内容と連動した到達目標を、各回授業の終了までに、できるようになってほしい行動を、以下に例示する動詞を参照のうえ、「（学生が）〇〇できる」「〇〇できるようになる」の形式で記載してください。

一つの文章に一つの目標を書き、成績の評価と関連づけられるよう、観察、観測、評価可能な目標としてください。

必ず、学生を主語として記載してください。

〔知識〕 述べる 説明する 比較する 関係づける 予測する 具体的に述べる 応用する

〔技能〕 測定する 工夫する 準備する 実施する 行う 熟練する 操作する

〔態度〕 参加する コミュニケーションをとる 尋ねる 協調する 配慮する 議論する

到達目標を全て満たすと、「授業の目標」が満たすことができるよう記載します。

時間外学習・備考（必須）

授業の到達目標を達成するために必要となる時間外学習（予習・復習等）について、具体的な内容、必要な時間の目安を記載してください。

授業時間、1コマにつき=60分以上（専攻科は授業時間、1コマにつき=120分以上）となるように記載してください。※ただし、2単位1コマの授業の場合は、1コマにつき=240分以上

授業計画に沿って各回について記載することが望ましいものの、科目の性質上、各回の記載が適切でない場合は、当該枠への記載は可能な範囲でかまいません。

但し、今後全ての科目で例外なく記載いただくこととなってまいりますので、可能な限り記載してください。

記載例を別紙にまとめております。ご確認ください。

【第三者チェックに関して】

- ・すべての科目について第三者チェックを行っております。
 - ・シラバス入力期間の終了後に、各科目のシラバスを予め選定された承認者がチェックします。
 - ・チェックにより差し戻しとなった科目は、シラバス修正期間に修正します。
- 第1期間: 提出後～12月26日**
第2期間: 担当チェック後～1月19日
第3期間: 2月1日～2月28日
※上記ご依頼の日程は若干前後する場合がございます。ご了承ください。

区分	担当
必修科目／インナービューティー関連科目	永松俊哉 教授 五十嵐靖博 教授
美容師免許取得関連科目	秋田留美 教授 平田昌義 准教授
グローバルキャリア・ビューティービジネス関連科目	河崎峰子 教授 栗本佳典 教授
自由選択科目	ティミー西村 教授 木村康一 教授

シラバス作成スケジュール

11	9	水	シラバス作成依頼	
11	30	水	シラバス提出期限	各担当がディプロマポリシーに基づき確認し、内容により、担当から修正依頼をいたします。
12	26	月	修正期限(第1回)	修正案の提出
1	17	火	自己点委員会(予定)	各担当より未提出、チェック状況等の報告
	19	木	修正期限(第2回)	主に、文言修正など事務局からの訂正依頼内容となります
2	8	水	教授会	提出状況等報告
	21	火	自己点委員会(予定)	最終確認(自己点委員が個別にチェックし気になった点を審議、委員会として訂正依頼)
2	28	火	修正期限(第3回)	最終調整の訂正依頼内容となります
3	1	水	教授会	自己点検評価・改善委員会から報告
	14	火	自己点委員会(予定)	シラバス内容確定
	23	木		スカイキャンパスへアップデート

※自己点検評価・改善委員会の日程については、現段階での予想となりますので多少前後します。

※今年度分作成時に指摘のあった先生方につきましては、再度その内容を思い出していただき、ご配慮をお願いします。